

「ひと」分野

政策
4

誰もがいきいきと暮らせる県づくり

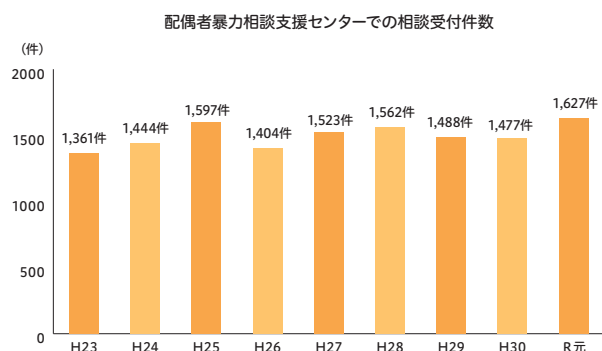
近年、社会情勢の変化に伴い、人権の問題が多様化・複雑化しています。国際化や高齢化の進展への対応や障がい者の社会参加を進め、誰もがいきいきとした人生を享受することができる共生社会を実現するためには、ユニバーサルデザインの考え方を幅広い分野にわたって取り入れ、推進していくことが重要です。

また、新型コロナウイルス感染症の影響などから、児童虐待やDV被害の増加が懸念されており、さらに、若年層の自殺者数が高止まりするなど、ストレスや悩み等、心の問題を抱える人が多くなっています。

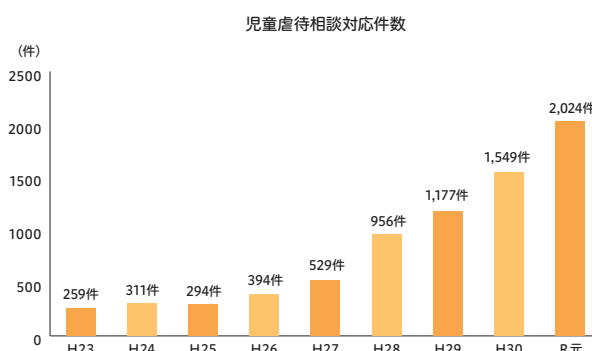
こうした状況下において、人権の尊重や男女共同参画の視点が一層重要性を増しており、支援を必要とする人それぞれの状況に応じたきめ細かな相談・援助体制を充実させ、一人一人が個人として尊重され、全ての人々が個性と能力を發揮し活躍できる社会、誰もが安心して暮らすことのできる社会づくりを進めていく必要があります。



グローバルセミナー



出典：県児童家庭課調べ



出典：県児童家庭課調べ

施策

1

多様な人々が共に生きる社会の形成

性別や国籍、障がいの有無等に関わらず、誰もが自分らしく生活できる地域社会づくりを推進します。



【主な取組】

①人権の尊重に関する取組

多様性を尊重し認め合う社会の実現に向けて、また、いわれのない偏見や差別の解消に向けて、啓発など人権の尊重に関する取組を進めます。

②高齢者の権利擁護に関する取組

成年後見制度の利用促進のため、市町村における地域連携ネットワークの構築を支援します。また、高齢者虐待や身体拘束について必要な研修を通じて、その発生防止に努めます。

③障がい者虐待防止対策や障がい者への差別解消に関する取組

福島県障がい者権利擁護センターや障がい者110番、障がい者差別解消ダイヤルなどにより、障がい者虐待や障がい者差別に関する相談・支援を行います。

④多様性社会の形成に向けた取組

多様性を尊重する社会の形成に向けて、各種広報や教育機会の充実等を推進するとともに、ユニバーサルデザインの視点でのまちづくり、ものづくりを更に進めます。

⑤多文化共生に関する取組

多言語による生活情報等の発信や相談体制を充実するほか、日本語学習の機会の拡充を図ります。また、多文化共生に係る県民の理解促進のための相互交流や、外国人住民が地域社会で活躍できる環境づくりを進めます。

施策

2

人権侵害等の防止対策の強化

暴力や虐待、ハラスメント等による被害の防止に向けた啓発活動や相談支援により、一人一人が尊重される地域社会づくりを推進します。



【主な取組】

①家庭内暴力（ドメスティック・バイオレンス）対策に関する取組

女性のための相談支援センター、保健福祉事務所などにおいて家庭内暴力に関する相談、被害者や同伴児の保護・自立支援に向けた取組を行います。

②児童虐待対策に関する取組

子どもの権利と生命を守るため、体罰によらない子育ての必要性や児童虐待防止について普及啓発を行うとともに、相談体制の充実及び関係機関の連携強化を図ります。また、家庭での養育が困難な児童に対して家庭に近い環境で養育ができるよう里親委託等を推進するとともに、家庭復帰や自立のための支援を行います。

③パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント対策に関する取組

パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメントなどの人権侵害の防止に向けた啓発を推進します。また、中小企業労働相談所における労働相談事業においては、パワー・ハラスメントなどの労働相談に対応します。

施策

3

男女共同参画社会の実現

地域や企業、市町村等と一丸となって女性が活躍できる環境づくりや男女共同参画の推進に取り組み、性別に関わりなく、全ての人が個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現を目指します。



【主な取組】

①女性の活躍のための環境づくりに関する取組

あらゆる分野の団体と連携し、女性活躍推進の必要性・有用性についてのトップの意識改革、女性の登用及び人材育成、性別に関わりなく仕事と生活の調和を図ることができ環境づくりを進めます。

②女性の意思決定過程への参画拡大に関する取組

あらゆる分野に参画し責任を担える女性人材の育成を図るとともに、様々な施策や方針決定過程において、女性の意見が十分に反映されるよう、審議会などへの女性委員の登用を図ります。

③家庭や地域での男女共同参画の推進に関する取組

男女共同参画に関する教育や地域での学習機会の充実等を推進し、家庭や地域における固定的な性別役割分担意識などの解消を図ります。

施策

4

援助を必要とする人を支え、安心、やさしさを実感できる社会の実現

心の健康に関する相談体制の充実やひとり親家庭、障がいなど援助を必要とする人を支え、誰もが安心して暮らすことのできる社会の形成に取り組みます。



【主な取組】

①自殺予防に関する取組

自殺の危険性の高い人の早期発見、早期対応を図るため、ゲートキーパー（命の門番）の養成を図ります。

②心の健康に関する相談体制の整備に関する取組

職場、地域、学校において、ストレスへの適切な対応など、心の健康に関する相談体制の整備を図ります。

③生活保護に関する取組

生活保護法に基づき、生活困窮者の最低生活の保障を適正に行うとともに、自立を促進します。

④援助を必要とする子どもや家庭のための支援に関する取組

ひとり親家庭を対象に、児童扶養手当などの経済的支援、就職相談や就職に有利な資格取得などの就業支援、子育てや生活全般に関する相談支援を行います。また、障がい等のある子どもやその家族が、地域で安心して生活するために必要な取組を行います。さらに、家庭での養育が困難な子どもを里親や児童養護施設などにおいて養育し、社会的自立に向けた援助を行います。子どもの未来が貧困に妨げられないことがないよう、早期の支援につなげるための仕組みづくりを進めます。

⑤犯罪被害者等支援に関する取組

国、市町村その他関係機関等と連携し、犯罪被害者等の被害の早期回復及び軽減を図るための支援や周知・啓発を進めます。また、ふくしま被害者支援センターを始めとする民間団体の活動を支援します。



「優しさは、心を結ぶ」特設サイト



手話の普及に関する取組



ふくしま女性活躍応援会議トークセッション



ゲートキーパー養成研修

基本指標（成果指標）

< 政策 4 >

誰もがいきいきと暮らせる県づくり

日頃、人と人の支え合いや絆を実感していると回答した県民の割合（意識調査）	< 現況値 > < 目標値 >	63.5% ※速報値 ↑ 84.0% 以上	(R3 年度) (R12 年度)
--------------------------------------	--------------------	---------------------------------	---------------------

< 施策 >

多様な人々が共に生きる社会の形成

「福島県は外国人にとって暮らしやすい」と回答した外国人住民の割合（意識調査）	< 現況値 > < 目標値 >	— ↑ 80.0% 以上	(R12 年度)
「多様性を理解した社会づくりが進んでいる」と回答した県民の割合（意識調査）	< 現況値 > < 目標値 >	— ↑ 80.0% 以上	(R12 年度)
市町村地域福祉計画策定率	< 現況値 > < 目標値 >	54.2% ↑ 100%	(R2 年度) (R12 年度)

男女共同参画社会の実現

県の審議会等における委員の男女比率	< 現況値 > < 目標値 >	女性委員 35% いずれの性も 40% を下回らない	(R2 年度) (R12 年度)
民営事業所の管理職における女性の割合（係長相当職以上の女性比率）	< 現況値 > < 目標値 >	19.2% ↑ 30.0%	(R2 年度) (R12 年度)
県（知事部局）の管理職における女性職員の割合（副課長相当職以上の女性管理職）	< 現況値 > < 目標値 >	9.1% ↑ 12% 以上	(R3 年度) (R12 年度)
地域において、女性の社会参加が進んでいると回答した県民の割合（意識調査）	< 現況値 > < 目標値 >	25.6% ※速報値 ↑ 67.0% 以上	(R3 年度) (R12 年度)

援助を必要とする人を支え、安心、やさしさを実感できる社会の実現

自殺死亡率（人口 10 万対）	< 現況値 > < 目標値 >	19.6 ↓ 17.3 以下	(R2 年) (R12 年)
自殺者数	< 現況値 > < 目標値 >	355 人 ↓ 288 人以下	(R2 年) (R12 年)

補完指標

(指標名)	(現況値)	(目標値)
◆「多様な人々が共に生きる社会の形成」関連		
・「やさしい日本語」交流事業参加者数	R2 年度 1,711 人	R12 年度 10,000 人
◆「人権侵害等の防止対策の強化」関連		
・児童虐待相談対応件数	R 元年度 2,024 件	数値は毎年度把握し 分析する (目標値は設定しない)
・配偶者暴力相談支援センターでの相談件数	R 元年度 1,627 件	数値は毎年度把握し 分析する (目標値は設定しない)
◆「男女共同参画社会の実現」関連		
・男女共同参画に関わる講座・イベントの開催市町村の割合	R 元年度 27.1%	R12 年度 80.0%
◆「援助を必要とする人を支え、安心、やさしさを実感できる社会の実現」関連		
・生活保護率	R2 年度 9.1%	数値は毎年度把握し 分析する (目標値は設定しない)